

## B-23 毛製品の洗たくに用いる中性，弱アルカリ性洗剤の評価

花王生活科学研 掛川貞夫 鶴岡英樹 ○大谷洋子

目的 従来，毛製品の洗たくには中性洗剤が用いられてきたが，近年，弱アルカリ性洗剤でもその用途に毛製品を含めた表示をしているものがある。そこで，中性洗剤または弱アルカリ性洗剤（高級アルコール系およびアルキルベンゼン系）で洗たくした場合に，毛製品の受ける影響を知ることによつて，各洗剤の特性を知り，毛製品の洗たくにおける各洗剤の評価，適性，洗たくのあり方について考察した。

方法 中性および弱アルカリ性の各種市販洗剤を用いて毛メリヤス編布をくりかえし洗たくし，洗浄力，風合，黄変性，蛍光剤の染着性，収縮性等を比較検討した。

結果 中性洗剤は一般の弱アルカリ性洗剤に比べて洗浄力の面ではやゝ劣るが，風合，白度等で優れた特質を有している。一方，弱アルカリ性洗剤では洗浄力が高いという特質を持つが他の面で中性洗剤に比べてやゝ劣る。しかし，弱アルカリ性洗剤の中でも高級アルコール系のものは，アルキルベンゼン系のものに比べて風合が優れ，中性洗剤と同等の評価を得ている。

以上のことから，毛製品の洗たくにおいては汚れが比較的少なく，衣料品の外観，風合等を保持することが望まれるおしやれ着等に対しては中性洗剤の使用が好ましく，一方，汚れのひどい普段着等では洗浄力が高い点を重視すれば弱アルカリ性洗剤で，しかも風合の面でより良好な高級アルコール系のものが適しているといえる。